

Basic 医療用吸引ポンプ

JA

取扱説明書

警告と安全の手引

警告 は、回避されない場合、死亡事故や深刻な怪我を招く恐れのある潜在的に危険な状況を示します。

注意 は、回避しなければ軽度または中程度の怪我になりかねない危険な状況を示します。

安全に関連するヒント は、本製品の安全使用に関する役立つ情報を示します。

Basicは、本取扱説明書に記載された使用目的でのみ承認されています。Medelaがシステムの安全な動作を保証できるのは、Medela純正の付属品（排液システム、チューブ、フィルターなど「付属品概要」の章をご覧ください）と組み合わせてBasicを使用した場合のみです。

重要情報

本製品を使用する前に、本警告と安全の手引をご一読願います。操作前に、関連する情報シグナルとトラブルシューティングの指示についてもよく理解してください（「設置」と「トラブルシューティング」の章を参照）。この取扱説明書は、参照できるように装置と一緒に保管して下さい。この取扱説明書は、製品使用に関する一般的なガイドです。医療上の問題は医師が対処する必要があります。適切な外科的処置および手技に従った使用は、医師の責任となります。各医師が、ご自身の知識と経験をもとに治療が適切かどうか評価する必要があります。Medelaは、Basicが取扱説明書に沿って使用されなかった場合の安全性、信頼性、性能に対する影響についての責任は負いかねます。適切な外科的処置および手技に従った使用は、医師の責任となります。各医師が、ご自身の知識と経験をもとに治療が適切かどうか評価する必要があります。本製品に関連して重大な事故が発生した場合は、必ず Medela AG および関連する管轄当局に報告してください。

警告

警告：交差感染やバイオハザードにさらされるリスクを軽減するため、次の指示に従ってください。

ご使用のたびに、吸引された分泌物に接触した部品を再生の指示に従って洗浄、消毒、滅菌あるいは廃棄する必要があります。本製品に付属の接続チューブを吸引部位に直接接触させないでください。滅菌済み吸引カテーテルを必ず使用してください（感染症の危険性があるため）。

警告：不適切な使用による怪我のリスクを軽減するため、次の指示に従ってください。

吸引手順ならびに吸引器の使用について十分なトレーニングを受けた医療従事者のみが使用してください。

Basicを使用する前に、適応用途をご確認いただき、リスクファクターならびに禁忌事項を考慮してください。本取扱説明書に記載されている説明を読まなかったり、あるいはその指示に従わなかったりした場合、深刻あるいは致命的な怪我を患者に負わせる可能性があります。特殊な付属品を使用しない限り、胸腔ドレナージなどに必要な低吸引圧設定には適していません。屋外使用あるいは搬送用途は承認されません。

警告：セットアップまたは操作中の潜在的な怪我のリスクを低減するため

本製品の改造は許可されません。本製品を受動ドレナージ管に接続しないでください。Basicは、「付属品概要」に記載されている付属品と組み合わせて検証されました。正しく安全に使用するために、Basicはこれらの付属品とのみご使用ください。詳細情報は、各付属品の説明書に記載されています。

警告：他の機器との干渉による潜在的な怪我のリスクを低減するため

Basicは、他の機器と隣接させて使用してはいけません。また、他の機器と積み上げて使用してはいけません。他の機器の近くで使用したり、上に他の機器を載せる必要がある場合は、Basicが正常に動作するかを確認する必要があります。

本製品の製造元が提供する以外の付属品やケーブルを使用すると、電磁放射が増加したり、本吸引ポンプの電磁環境耐性が低下し、不適切な動作を引き起こす可能性があります。携帯型RF通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、製造元が指定するケーブル（電源ケーブル、フットスイッチ、トロリー）を含むBasicポンプのどの部分からも30 cm以上離して使用してください。これが守られない場合、本製品の性能が低下する可能性があります。

警告：感電の可能性、または熱、火災、爆発への暴露のリスクを低減するため

感電の危険を回避するために、本製品は保護アース付き電源コンセントに接続してください。爆発の危険があるもの、可燃性あるいは腐食性液体に対し本製品を使用しないでください。本製品を再生する前に、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。ヒューズを交換する前に、電源プラグを電源から抜いてください。Basicは壁コンセントの電源で使用する吸引ポンプです。吸引ポンプを電源に接続する前に、ご使用の地域の電源が仕様プレートの定格電力に準拠していることを確認してください。

注意

注意：交差感染やバイオハザードにさらされるリスクを軽減するため、次の指示に従ってください。

開封する前に、製品の滅菌包装に損傷がないか目視点検してください。包装が破損している製品は使用しないでください。再利用可能な製品は非滅菌状態で出荷されるため、初回使用前および使用後は毎回、「一般的な再生ガイドライン」の章に従って再生する必要があります。製品を再生するときは、必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。地域のガイドラインと規制に従って、使い捨て手袋やその他のPPEを着用してください。

水道水（≤40℃、≤104°F）による使用場所での処理。これに違反すると、残留物が固着し、十分に消毒されない可能性があります。

注意：不適切な使用による怪我のリスクを軽減するため、次の指示に従ってください。

間違った使用は患者の痛みや怪我を引き起こすことがあります。医師の指示と施設ガイドラインに従って、患者を定期的に監視するようにしてください。感染症または合併症の明らかな徴候または症状（熱、痛み、発赤、体温上昇、腫れ、化膿性分泌物など）が見られた場合は、すぐに処置が必要です。観察や監視を疎かにすると、患者を危険な状態にすることがあります。Basicの稼動状態を頻繁にご確認ください。Basicを創傷ドレナージに使用する場合、専門家の指示に従い、また創傷を悪化させないように陰圧を設定してください。

注意：セットアップまたは操作中の潜在的な怪我のリスクを低減するため

ラック型の場合、製品の過熱を防ぐために筐体から最低でも5 cmの距離を取ることがあります。

注意：他の機器との干渉による潜在的な怪我のリスクを低減するため

ワイヤレスホームネットワーク装置、携帯電話、コードレス電話などのワイヤレス通信機器、ならびにそれらのベースステーション、トランスミッターはBasicポンプに影響を与えるため、製品（吸引ポンプ、電源ケーブル、フットスイッチ、トロリー）から少なくとも30 cm以上の距離を置く必要があります。

注意：感電の可能性、または熱、火災、爆発への暴露のリスクを低減するため

本体の過熱を防ぐために、操作中は本体下部の排気口をふさがないようにしてください。

安全に関するヒント

安全試験のため、本製品を使用する期間中、吸引ポンプを保守マニュアルに従って特別なおよび修理する必要があります。心臓除動器による放電の影響からBasicを保護するために、適切なケーブルを使用する必要があります。電源から外すときは、電源プラグを固定電源コンセントから確実に抜いてください。サードパーティのインターフェース機器（カニューレ、カテーテルなど）は、ポンプの性能に影響を与えることなく取り付けできる必要があります。使用前に吸引ポンプの適切な性能を確認してください。使用の準備のセクションを参照してください。液体と、主電源プラグの末端部や機器の電源ポートとが接触しないようにしてください。

安全の手引

• Basicと併用する機器の取扱説明書で、特定の使用上の禁忌についてご確認ください。
• すべての操作において適切な手袋を着用してください。
• Basicは、EMCに従って特別な安全上の注意を要する医療機器です。「技術文書」の章に記載するEMC情報に従って設置および使用する必要があります。
• Basicは磁気共鳴装置（MR）に対して安全ではありません。磁気共鳴装置（MR）環境下で本製品を使用しないでください。
• オーバーフローが発生した場合、ご施設内の技術保守部門へ直ちに連絡し、保守マニュアルに記載されている措置を実行してください。
• 以下の場合には、本製品は使用せずに、Medelaカスタマーサービスによる修理が必要となります：
– 電源コードやプラグが破損している場合
– 製品が適切に機能していない場合
– 装置に損傷がある場合
– 製品に明らかな安全上の欠陥がある場合。
• 電源コードは高温の場所に保管しないでください。
• 電源プラグは水分に接触させないでください。
• 電源プラグを固定電源コンセントから抜くときは、絶対に電源コードを引っ張らないでください。
• 製品のスイッチをオンにした状態で製品を放置しないでください。
• 使用時、ポンプは直立に立ててください。
• 高温の室内、操作者が非常に疲れているとき、もしくは爆発の危険のある環境下では本製品を使用しないでください。
• 本製品を水や液体内に浸漬させないでください。
• 単回使用の滅菌製品を使用する際、再生による使用は意図されていないことにご注意してください。再生すると、機械、化学および/または生物学的特性が失われることがあります。再利用により、交差感染を引き起こす可能性があります。
• 製品の操作でお困りの場合は、Medelaカスタマーサービス担当者までご連絡ください。
• Medelaの吸引装置は、体液の吸引にのみ使用してください。Medelaの吸引装置を体液の投与に使用しないでください。

この取扱説明書はいつでも参照できるように保管して下さい。

概要

はじめに

Basicは高品質の吸引ポンプで、さまざまな吸引ニーズに対応し、最大限の吸引性能を発揮します。Basicは操作や再生が容易にでき、セーフティー機能も備えているため、最適な操作を約束します。Medelaの豊富な付属品と組み合わせることで、多くの医療用途に合わせてポンプを構成することができます。

使用目的

Basic吸引ポンプの用途は0~90 kPaの範囲で一定の吸引圧を作り出すことです。

ご使用にあたって

Basic吸引ポンプは、一般手術、脂肪吸引、内視鏡検査、心内膜切除、鼻咽喉吸引、神経外科手術、OPCAB、吸引アシストによる帝王切開/分娩、創傷ドレナージなど、病院、クリニック、医師の診療環境で真空を必要とするすべての用途に適しています。

禁忌事項

Basic吸引ポンプに対する禁忌事項はありません。

対象ユーザー

Basicは、吸引手順に精通した医療従事者および再生に専属の職員のみが操作してください。職員には聴覚および視覚障害がないものとします。

対象となる患者

Basicは、取扱説明書に記載された症状を示す患者への使用のみを意図しています。

望ましくない副作用

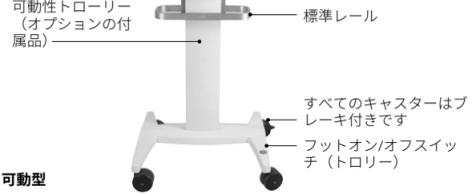
Basic吸引ポンプに対する既知の望ましくない副作用はありません。

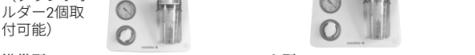
概要

吸引圧の定義

医療用吸引機器の用途では、吸引圧は通常、絶対圧と大気圧の差分（絶対値）またはキロパスカル（kPa）で示される負の値です。本書において、例えば、-10 kPaの表示は常に、大気圧（EN ISO 10079：1999の用語及び定義による）を下回る吸引圧範囲（kPa）を指しています。

	—	セーフティセット
	—	オン/オフボタン
	—	標準レール

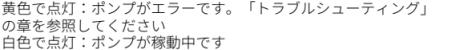
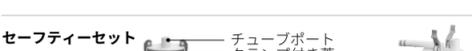


	—	セーフティセット
	—	オン/オフボタン
	—	標準レール

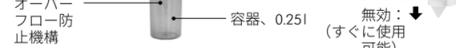
すべてのキャスターはブレーキ付きです
フットオン/オフスイッチ（トロリー）

	—	ラック型
---	---	------

	—	ケーブルホルダー（オプションのトロリーに付属）
	—	フットスイッチ用ポート
	—	電源ポート
	—	フットスイッチ用ポート

	—	ラック型
	—	ケーブルホルダー（オプションのトロリーに付属）
	—	フットスイッチ用ポート
	—	電源ポート
	—	フットスイッチ用ポート

緑色で点灯：ポンプがオンです
黄色で点灯：ポンプがエラーです。「トラブルシューティング」の章を参照してください
白色で点灯：ポンプが稼動中です

	—	チューブポート クランプ付き蓋
	—	容器、0.25l

有効：↑
無効：↓
（すぐに使用可能）

設置

1 初回納品内容の確認

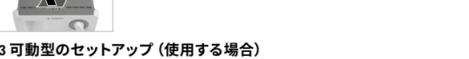
Basicの納品内容を確認し、欠品の有無や製品の全体的な状態をご確認ください。

	Basic携帯型		Basicラック型
	電源コード、六角レンチ		再利用可能容器 0.25 L
	保守マニュアルをご覧ください		シリコンチューブ ø 7x12 mm、カップリングピース 2個付き
	安全容器用蓋、オーバーフロー防止装置		取扱説明書

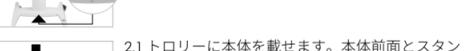
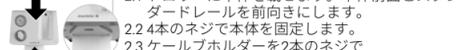
	取扱説明書
---	-------

2 搬送用ロックを外す

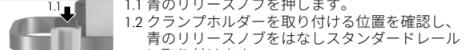
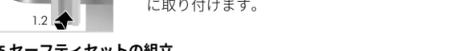
1.1 赤い注意書きを外します。
1.2 3本のネジを取り外します。後で使用するためネジは保管しておいてください。

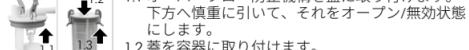
	可動型のセットアップ（使用する場合）
---	--------------------

1.1 図のようにチューブが合うように確認しながら、トロリー上部を下部の上に載せます。
1.2 4本のネジで上下を固定します。

	オプションのクランプホルダーの組み立て（オプションのトロリーを使用する場合）
	オプションのクランプホルダーの組み立て（オプションのトロリーを使用する場合）

2.1 トロリーに本体を載せます。本体前面とスタンダードレールを前向きにします。
2.2 4本のネジで本体を固定します。
2.3 ケールホルダーを2本のネジで本体に固定します。

	オプションのクランプホルダーの組み立て（オプションのトロリーを使用する場合）
	オプションのクランプホルダーの組み立て（オプションのトロリーを使用する場合）

	セーフティセットの組立
	セーフティセットの組立

2.1 セーフティセットを本体に取り付けます。
3.1 再生の際は、セーフティセットをポンプから取り外し、手順 1.3、1.2、1.1 を逆に行って分解します。

使用の準備

警告
• 吸引手順ならびに吸引器の使用について十分なトレーニングを受けた医療従事者のみが使用してください。

注意
• すべての操作において適切な手袋を着用してください。

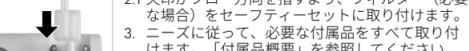
Basicは垂直にして使用する必要があります。ラック型の場合、製品の過熱を防ぐために筐体から最低でも5 cmの距離を取る必要があります。筐体の後部は開放する必要があります。滅菌の付属品については、ご使用になる前にその梱包材が損傷していないことをチェックする必要があります。

1 使用前の確認事項

• Basicを使用する前に、電源コードやプラグの破損、本製品の明らかな破損、安全上の欠陥の有無や、装置が正しく動作するかご確認ください。
• Basicの納品内容に欠品がないか、および製品の全体的な状態をご確認ください。
• 使用前にすべての付属品を確認してください：
1. 吸引容器、蓋、ライナーのひび割れ、もろさ、欠陥。
2. チューブにひび割れやもろい箇所がなく、コネクターがしっかり取り付けられているかどうか。必要に応じて交換してください。
3. 追加の安全試験として、実際に使用する前に最大吸引圧までシステム（容器を含む）を脱気してください。

2 基本構成の組み立て

1.1 Basicにセーフティセットが取り付けられているかを確認します。「設置」と「セーフティセットの組立」の章を参照してください。

	基本構成の組み立て
	基本構成の組み立て

2.1 矢印がフロー方向を指すよう、フィルター（必要な場合）をセーフティセットに取り付けます。
3. ニーズに従って、必要な付属品をすべて取り付けます。「付属品概要」を参照してください。

3 フットスイッチの取付

1.1 オプションのフットスイッチのプラグをポンプに差し込み、接続します。
1.2 フットスイッチが適切に動作するかをテストします。

	フットスイッチの取付
---	------------

4 収集システムの組み立て

付属品と排液回収システムの組立説明書と使用に関するすべての情報については、関連製品に付属のMedelaディスプレイ排液回収システム、Medela再利用可能な排液回収システム、およびMedelaディスプレイフィルターの取扱説明シートを参照してください。

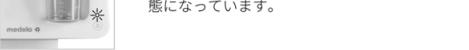
操作説明

警告
• Basicは壁コンセントの電源で使用する吸引ポンプです。吸引ポンプを電源に接続する前に、ご使用の地域の電源が仕様プレートの定格電力に準拠していることを確認してください。

注記
• Basicは、壁コンセントの電源からの距離を容易に変更できるように設置してください。
• すべての操作において適切な手袋を着用してください。

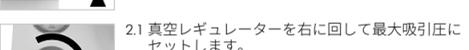
1 Basicを電源に接続します

1. 「使用前の準備」の章の説明に従って、使用前に本体をご確認ください。
2.1 電源コードを本体後部の電源ポートに差し込みます。取付金具を使用して電源コードを電源ソケットに固定します。
2.2 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

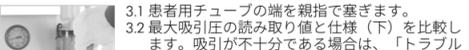
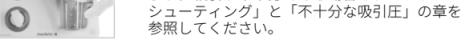
	Basicを電源に接続します
	Basicを電源に接続します

2 最大吸引圧を確認します

1.1 Basicの電源を入れます。

	最大吸引圧を確認します
	最大吸引圧を確認します

2.1 真空レギュレーターを右に回して最大吸引圧にセットします。

	最大吸引圧を確認します
	最大吸引圧を確認します

3.1 患者用チューブの端を親指で塞ぎます。
3.2 最大吸引圧の読み取り値と仕様（下）を比較します。吸引が不十分である場合は、「トラブルシューティング」と「不十分な吸引圧」の章を参照してください。

吸引圧の仕様			
場所 (海抜)	最少吸引圧	最少吸引圧	最少吸引圧
+ 3000 m	− 61 kPa	− 610 mbar	− 458 mmHg
+ 2000 m	− 70kPa	− 700 mbar	− 525 mmHg
+ 1000 m	− 79kPa	− 790 mbar	− 592 mmHg
+ 500 m	− 84kPa	− 840 mbar	− 630 mmHg
0 m	− 90kPa	− 900 mbar	− 675 mmHg

注意
• Basicを創傷ドレナージに使用する場合、専門家の指示に従い、また創傷を悪化させないように陰圧を設定してください。

3 吸引レベルの変更

2.1 患者用チューブを取り付けます
2.2 目的に応じて真空レギュレーターを回し、適正な吸引圧を選択します。吸引圧を上げるには、レギュレーターを時計回りに回します。
2.3 設定のため真空計を確認します。

警告
• ご使用のたびに、吸引された分泌物に接触した部品を再生の指示に従って洗浄、消毒、滅菌あるいは廃棄する必要があります。

注意
• 再利用可能な製品は非滅菌状態で出荷されるため、初回使用前および使用後は毎回、「一般的な再生ガイドライン」の章に従って再生する必要があります。

4 使用後の操作

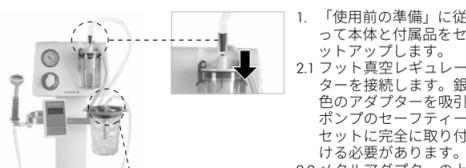
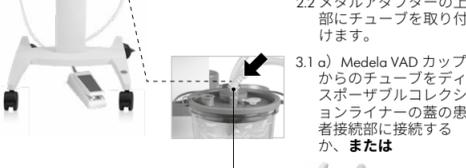
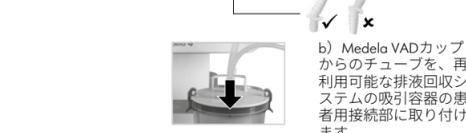
1.1 オン/オフ ボタンを押して、吸引ポンプをオフにします。

	使用後の操作
---	--------

2.1 電源プラグを電源から抜きます。「一般的な再生ガイドライン」の章を参照してください。

吸引分娩のセットアップ

注記
• Basicは、電源からの距離を容易に変更できるように設置してください。

	吸引分娩のセットアップ
	吸引分娩のセットアップ
	吸引分娩のセットアップ

1. 「使用前の準備」に従って本体と付属品をセットアップします。
2.1 フット真空レギュレーターを接続します。銀色のアダプターを吸引ポンプのセーフティセットに完全に取り付けると、真空が確保されます。
2.2 メタルアダプターの上部にチューブを取り付けます。

3.1 a) Medela VAD カップからのチューブをディスプレイ排液回収システムの吸引容器の患者接続部に接続するか、または

b) Medela VADカップからのチューブを、再利用可能な排液回収システムの吸引容器の患者用接続部に取り付けます。
4.1 本体のスイッチを入れ、吸引圧を最大に設定し、Medela VADカップ側のチューブを固定し、真空レギュレーターを完全に押し下げます（つま先を使用して前に倒します）。
4.2 最大吸引圧の値と仕様を比較します（上の表を参照）。

5.1 問題がなければ、フット真空レギュレーターを「ゼロ吸引圧または大気圧」状態に戻し（かかとで後部を押し下げます）、吸引を解除します。
5.2 ポンプを使用する準備ができました。

トラブルシューティング

不十分な吸引圧
以下を確認してください：
• 真空レギュレーターが正しくセットされていること。
• チューブに欠陥がなく、壊れていないこと。必要に応じて、交換してください。
• すべての接続がしっかりと固定されていること。
• オーバーフロー防止が無効/オープンになっている。オーバーフロー防止が有効になっている場合は、「設置」と「セーフティセットの組立」の章に示すように無効にします。
• 吸引容器/蓋にひび割れ、傷がついた部分、変色がないこと。必要に応じて、交換してください。
• ディスposerザブルシステムにひび割れ、傷がついた部分、変色がないこと。必要に応じて、交換してください。
• フィルターに目詰まりがないこと。フィルターが詰まっていないかテストするには、フィルターに付属の取扱説明書を参照してください。

問題が解決しない場合は、社内の技術部門に連絡してください。

LEDが点灯しない
Basicが電源に接続されていないか、またはヒューズを交換する必要があります。

黄色のLEDインジケータが点灯する
軽微な場合：黄色のLEDインジケータが点灯しているが、本体の電源のオンオフを切り替えることができます。
• 次の機会に、ご施設の技術部門、または承認を受けたサービスセンターに連絡してください。

問題が大きい場合：黄色のLEDインジケータが点灯しており、本体の電源のオンオフの切り替えができない。
• ご施設の技術部門、または承認を受けたサービスセンターに連絡し、修理またはメンテナンスを依頼してください。

モーターが動かない
以下を確認してください：
• Basicがオン

一般的なガイドライン

PSU容器、再利用可能蓋、クランプ、オーバーフロー保護、オーリング（濡れた場合）、壁用ホルダーおよびPC容器（濡れた場合）、コネクター（チューブから分解）、ホルダー、ロッククリップ

シリコンチューブ（200 cmまでのみ）、切り替えバルブ（濡れた場合）

ポンプハウジング、ケーブル、フットスイッチ、フットパキュームレギュレーター、壁用ホルダー、トローリ、PC容器

- ISO 17664-2に従い、これらの説明書は、医療機器の製造業者によって、再利用のために医療機器を準備できることが検証されています。処理施設で機器、材料、人員を使用して実際に残さるの処理が、望ましい結果を達成することを保証することは、処理者の責任です。これには、プロセスの検証およびまたは検証と日常的なモニタリングが必要です。
- 水質の様様についてはAAMI TR34を参照してください。

- ウォッシャーディスインフェクターはISO 15883シリーズに準拠して適格性評価され、洗浄と消毒は認定ラボのISO 15883認定ウォッシャーディスインフェクターで検証されています。
- 分解したすべての部品は、キャリア/固定点にしっかりと固定する必要があります。
- ウォッシャーディスインフェクターに過負荷をかけないようにしてください。分解した部品は、洗浄されていない部分が残らず、洗浄液が内側と外側の表面に触れるように配置してください。

- 目に見える摩耗または損傷の兆候が見られる場合は、本体（または該当する部品）を廃棄または修理してください。

- 必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。地域のガイドラインと規制に従って使い捨て手袋やその他のPPEを着用してください。
- 水道水（≤40 °C、≤104”F）による使用場所での処理。これに違反すると、残留物が固着し、十分に消毒されない可能性があります。

- 必ず個人用保護具（PPE）を着用してください。地域のガイドラインと規制に従って使い捨て手袋やその他のPPEを着用してください。
- 水道水（≤40 °C、≤104”F）による使用場所での処理。これに違反すると、残留物が固着し、十分に消毒されない可能性があります。

- 病気にかかっており、下記の手順で病原体を除去できない患者に使用する場合は、本製品を廃棄する必要があります。
- 腐蝕時間や安全対策（これらに限定されず）に関しては、洗浄剤および消毒剤メーカーからの使用説明書を参照してください。
- 装置の使用後すぐに（汚れた本製品に着着して乾燥する前に）、使用場所での処理を実施してください。

- 液体を、主電源プラグの末端部や機器の電源ポートとが接触しないようにしてください。

- 本製品を水やその他の液体に浸したり、すすいだりしないでください。洗浄剤や消毒剤を本製品に直接スプレーしないでください。

- 水道水で濡らせた柔らかい糸くずの出ない布で機器の外側表面を拭き取り、粗い汚れをすべて取り除きます。側面、デッドエンド、複雑な形状と、溝槽（および消毒）が困難な部分を拭き取るように注意してください。

- コネクター付きチューブのルーメン、またはコネクターピースとホースの間の嵌合部分（コネクターが取り外せない場合）、または切り替えバルブのチャンネルが汚染されている場合、汚染された物質に適用される手順に従って本製品を廃棄してください。

- 次に進む前に、個々の部品を分解します（取り付け説明書を参照）。汚れている場合は、チューブのホースからコネクターを取り外します。
- Oリングが汚れている場合は、コネクターから取り外す。
- ホルダーのトルクスネジを慎重に開き、ボタンを押してスプリングを圧縮します。ネジを取り外した後、プッシュボタンをゆっくりと放します。次に、プッシュボタンとスプリングを取り外します。
- クランプを閉じてから引張り、下側の爪を取り外します。

- 必要に応じて、粗い汚れを除去するには、分解した部品を水道水に10分浸し、水道水に浸した柔らかい糸くずの出ない布で目に見える汚れを拭き取ります。

- 残留汚れが本製品上で乾燥している場合、酵素が効果を発揮する前に汚れを再水和する必要があります。

- CavWipes™またはIncidin OxyWipe S™で本製品の外面全体を拭きます。
- 清掃が困難な箇所（分解できない部品が接触する箇所など）は拭き取ります。
- ワイプが汚染されている場合は、新しい洗浄ワイプおよび消毒ワイプを使用してください。
- 目に見える汚れがすべて取り除かれるまで洗浄します。

- 新しいCavWipes™またはIncidin OxyWipe S™ワイプを使って、本製品のすべての外部表面を拭きます。
- 本製品の清掃が困難な部分には特に注意してください。
- 3分後、新しいCavWipes™またはIncidin OxyWipe S™で、本製品の外面全体を拭きます。
- フィアメーカーの取扱説明書に記載されている時間、本製品のすべての表面が室温で目に見える程度に濡れていることを確認してください。使用しているワイプを捨てずに表面を濡らせない場合は、新しいワイプを使用してください。
- 洗浄しにくい部分にワイプが届くのを助けるために、新しいCavWipesまたはIncidin OxyWipe Sワイプをスバチュラまたは同様の器具に巻き付けることができます。
- 規定の曝露後、精製水で濡らせた柔らかい糸くずの出ない布で残留物を取り除きます。

- チューブをカーゴバスケットの有効なすぎずシステムに接続して、内側と外側のすずぎを確実にします。
- 入口（患者側）を通してまっすぐなノズルに蓋をかぶせます。
- その他のすべての機器をカーゴバスケットに配置します。
- 必要に応じて、小型部品バスケットをカーゴバスケットに配置します。
- 乾燥補助剤（すすぎ剤）は使用しないでください。表面に残っていると、本製品と生体適合性に悪影響を及ぼす可能性があります。

ウォッシャーディスインフェクターの洗浄プログラムは、以下に従う必要があります。
- 水道水による1分間の予備洗浄
- needsher® MedClean forteの水通水による0.5％水溶液を使用して55°Cで5分間洗浄
- 精製冷水による1分間のすすぎ

- 90 °Cで1分間（A0=600）精製水（添加剤なし）で熱消毒するか、地域のガイドラインと規制に従ってA0値を調整。

- 分解した部品を110°Cのウォッシャーディスインフェクターで最低45分間乾燥させます。

- ウォッシャーディスインフェクターで乾燥できない場合、または水分が残っている場合は、乾いた柔らかい糸くずの出ない布で外部表面を拭き取るか、医療グレードの圧縮空気で慎重に乾燥させます。
- 手の届きにくい場所は特に乾燥を確認してください。

- 本体または分解した部品に残っている汚れや消毒液がないか目視点検します。必要に応じて、洗浄と消毒を繰り返します。
- 本体または分解した部品に損傷がないか目視点検します。1つ以上の部品に損傷がある場合は、新品と交換してください。

- 再組み立てのガイダンスについては、本取扱説明書の設置セクションを参照してください。

- 本取扱説明書の指示に従って、完全な保守または日常点検を実施してください。

- 必ず乾燥した清潔で埃のない場所に保管してください。

- 本製品を修理に出す前に再生してください。これが不可能な場合、または部分的のみ行える場合は、包装に潜在的な生物学的危険性を表示すべきです。現地の手順とガイドラインが適用されます。

- 地域のガイドラインおよび規制に従って、本体または部品の完全性を確保し、使用するまで再汚染から保護するための適切な措置を講じてください。

保証および修理

保証

Medela AGは、製品がお手元が届いた日から5年間を保証期間とし、製品の安全な品質と性能を保証します。材質の欠陥については、誤用や不正使用によって起因するものでない限り、この期間は無償で交換します。消耗する部品については対象外とします。この保証およびMedela製品による最適なサービースに対するコンプライアンスを保証するために、当社製品にはMedela社純正の付属品のみを使用することを推奨します。いかなる場合においても、不適切な操作、不適切な使用、許可されていない修理、不適切な組み立てまたは分解に起因する間接的な破損に対する法的責任をはじめとして、記載された保証範囲を超える請求申し立てについては、Medela AGは責任を一切負わないものとします。許可のない人物によってポンプに何らかの作業が行われた場合、欠陥のある部品の交換を受ける権利について、Medelaはこれを認めることができません。この保証は、Medelaサービセンターに返品された製品が対象となります。

メンテナンス/定期点検

吸引ポンプ、そのモジュール、または付属品の保守および保守作業は、訓練を受けた認定保守担当者のみが行ってください。Medelaは、ご希望に応じて英語版の保守マニュアル [REF 200.6366]に従って、定期点検を年に1回実施することを推奨します。

廃棄

- すべての製品は、認められた医療慣行および適用される地域のガイドラインと規制に従って取り扱い、廃棄してください。
- 再利用可能な機器は廃棄前に再生してください。体液で汚染された付属品をオートクレーブ滅菌します。

ポンプおよび電気部品

- 廃棄機器の適切な回収場所については、販売店にお問い合わせいただくか、地域の当局にお問い合わせください。
- Basicは、欧州指令2012/19/EU WEEEに従って廃棄してください。
- 電気・電子機器を未分別の家庭ゴミと一緒に廃棄しないでください。別途回収してください。
- 欧州連合/スイス/イギリス域内では、製造元または販売元に廃棄機器の回収が義務付けられています。他の国では、同様の回収およびリサイクルシステムが存在する場合があります。電気および電子機器の廃棄については、居住国の適切な州法や規則を順守してください。
- 廃棄時に廃棄機器を別々に回収し、リサイクルすることで、天然資源を節約し、人の健康と環境を保護する方法でリサイクルすることができます。

付属品概要

警告

- Basicは、このページに記載されている付属品と組み合わせて検証されました。正しく安全に使用するために、Basicはこれらの付属品とのみご使用ください。詳細情報は、各付属品の説明書に記載されています。

安全に関するヒント

- サードパーティのインターフェース機器（カニューレ、カテーテルなど）を、ポンプの性能に影響を与えることなく取り付ける必要があります。使用前に、吸引レベルが適切に機能し、維持されていることを確認してください。

REF 071.0001、ラック型	
REF 071.0000、携帯型 （この図には表示されていません）	
REF 071.0034	
REF 071.0015	
REF 071.0017	
REF 071.0018	
REF 071.0019	
REF 071.0020	
REF 071.0021	
REF 071.0022	
REF 071.0023	
REF 071.0024	
REF 071.0025	
REF 071.0026	
REF 071.0027	
REF 071.0028	
REF 071.0029	
REF 071.0030	
REF 071.0031	
REF 071.0032	
REF 071.0033	
REF 071.0034	
REF 071.0035	
REF 071.0036	
REF 071.0037	
REF 071.0038	
REF 071.0039	
REF 071.0040	
REF 071.0041	
REF 071.0042	
REF 071.0043	
REF 071.0044	
REF 071.0045	
REF 071.0046	
REF 071.0047	
REF 071.0048	
REF 071.0049	
REF 071.0050	
REF 071.0051	
REF 071.0052	
REF 071.0053	
REF 071.0054	
REF 071.0055	
REF 071.0056	
REF 071.0057	
REF 071.0058	
REF 071.0059	
REF 071.0060	
REF 071.0061	
REF 071.0062	
REF 071.0063	
REF 071.0064	
REF 071.0065	
REF 071.0066	
REF 071.0067	
REF 071.0068	
REF 071.0069	
REF 071.0070	
REF 071.0071	
REF 071.0072	
REF 071.0073	
REF 071.0074	
REF 071.0075	
REF 071.0076	
REF 071.0077	
REF 071.0078	
REF 071.0079	
REF 071.0080	
REF 071.0081	
REF 071.0082	
REF 071.0083	
REF 071.0084	
REF 071.0085	
REF 071.0086	
REF 071.0087	
REF 071.0088	
REF 071.0089	
REF 071.0090	
REF 071.0091	
REF 071.0092	
REF 071.0093	
REF 071.0094	
REF 071.0095	
REF 071.0096	
REF 071.0097	
REF 071.0098	
REF 071.0099	
REF 071.0100	
REF 071.0101	
REF 071.0102	
REF 071.0103	
REF 071.0104	
REF 071.0105	
REF 071.0106	
REF 071.0107	
REF 071.0108	
REF 071.0109	
REF 071.0110	
REF 071.0111	
REF 071.0112	
REF 071.0113	
REF 071.0114	
REF 071.0115	
REF 071.0116	
REF 071.0117	
REF 071.0118	
REF 071.0119	
REF 071.0120	
REF 071.0121	
REF 071.0122	
REF 071.0123	
REF 071.0124	
REF 071.0125	
REF 071.0126	
REF 071.0127	
REF 071.0128	
REF 071.0129	
REF 071.0130	
REF 071.0131	
REF 071.0132	
REF 071.0133	
REF 071.0134	
REF 071.0135	
REF 071.0136	
REF 071.0137	
REF 071.0138	
REF 071.0139	
REF 071.0140	
REF 071.0141	
REF 071.0142	
REF 071.0143	